

2015年9月29日
ジグソー株式会社
株式会社FFRI

ジグソー株式会社と株式会社 FFRI が事業・販売提携

ジグソー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：山川真考、以下「ジグソー」）と株式会社 FFRI（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：鵜飼裕司、以下「FFRI」）は、先日の IoT セキュリティ分野における共同研究に引き続き、2015 年 9 月 25 日に事業・販売提携をいたしました。

これはジグソーが保有するオートマネジメントプラットフォーム「puzzle」のダッシュボードと、FFRI のセキュリティ情報の自動連携表示、及び標的型攻撃対策ソフト「FFR yarai」のオートプロモーション連携と、年内に 100 社協業を推進するジグソーセールスアライアンスプログラム（DU コンソーシアム）を通じた販売・協業の包括的な提携になります。ジグソーは数万台のクラウド・システム等を自動管理するオートマネジメントプラットフォーム「puzzle」を保有しておりますが、今後、全てのクライアント及び配布先において、FFRI 提供の独自セキュリティニュースが自動フィードされ、各企業のエンドポイント端末におけるソフトウェア需要喚起が自動化されるとともに国内数億台のエンドポイントが今後の IoT 端末に変容していく流れをにらみ、ジグソーの IoT データコントロールサービスと FFRI の「FFR yarai」に代表されるエンドポイントセキュリティソフトウェアプロダクト連携をより進化させ、両社のビジネスの大きな拡大につなげてまいります。

マイナンバー制度施行に伴いサイバーセキュリティに対しての全ての企業の取り組みの強化が叫ばれておりますが、これらのセキュリティ対策についての普及は道半ばであり、多くのシステム自動可視化・自動運用システムを提供するジグソーと、従来型のセキュリティ対策技術では対応できない「新しいサイバー脅威」に対して「攻撃者の思考を先読みした新しい技術による対策」を実現する FFRI との提携は、より安全なインターネット社会の実現に大きく寄与するとともに全く新しいカタチの IoT データコントロールとセキュリティのスキームを実現してまいります。



【ジグソー株式会社について】

ジグソー株式会社は人口知能制御によるIoTデータコントロール及びロボット型ソフトウェアモジュール群による全自動IoTプラットフォームのクラウド提供、次世代OS・セキュリティコンポーネント群の研究開発等を軸に、システム監視、障害対応からシステム運用全般までトータルサポートなどを行っている国内唯一の次世代総合システム運用カンパニーです。

【株式会社 FFRIについて】

株式会社FFRIは、2007年、日本において世界トップレベルのセキュリティリサーチチームを作り、IT社会に貢献すべく設立されました。現在では日々進化しているサイバー攻撃技術を独自の視点で分析し、日本国内で対策技術の研究開発に取り組んでいます。研究内容は国際的なセキュリティカンファレンスで継続的に発表し、海外でも高い評価を受けておりますが、これらの研究から得られた知見やノウハウを製品やサービスとしてお客様にご提供しています。主力製品となる、「FFR yarai」はミック経済研究所調べ※1によるエンドポイント型標的型攻撃対策分野における出荷金額においてNo. 1を獲得しております。

※1 出典：「情報セキュリティソリューション市場の現状と将来展望2015【外部攻撃防御型ソリューション編】」

本件に関するお問い合わせ先	
ジグソー株式会社（証券コード：3914） URL : https://www.jig-saw.com/	株式会社 FFRI（証券コード：3692） URL : http://www.ffri.jp/
経営管理ユニット 広報担当	経営企画部 PR 担当
TEL : 03-5442-3957	TEL : 03-6277-1811
E-Mail : ir@jig-saw.com	E-Mail : pr@ffri.jp

本プレスリリースに掲載されている会社名および製品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。